

第29回は、「乳がん検診」について考えてみたいと思います。

10月1日は、「**ピンクリボンデー**」です。「**ピンクリボン**」とは、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の受診を推進すること、などを目的として行われる**世界規模の啓蒙キャンペーン**、もしくはそのシンボルを言います。

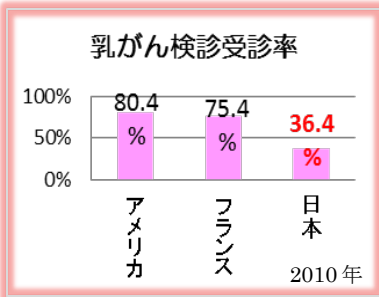
「乳がん」は年々増え、**日本人女性の12人に1人**がかかると言われており(厚生労働省人口動態統計2013年)、**比較的若い30～40代の女性でも発症することの多いがん**です(罹患率は、40代と50代がピークとなっています)。

しかし、**早期に発見し治療すれば、90%と高い確率で治る病気**でもあります。**ご自身のため、まわりの大切な方を悲しませないため、正しい知識を身につけ、定期的な検診受診とセルフチェックを行うことで、早期発見につなげましょう。**



乳がん検診受診率と死亡者数(女性)

欧米では、乳がんにかかる率は上昇していますが、**健診受診率の増加とともに、乳がんの早期発見・早期治療が可能となり死亡率は低下**しています。  
日本でも、食生活の欧米化や晩婚化などの影響によって乳がんにかかる人は増えていますが、**欧米と比べ検診受診率は低く、死亡者数も増加**しています。



\* 国立がん研究センターがん対策情報センター参照 \* 厚生労働省人口動態統計(概数)2015 発表

\* 40歳以上の女性を対象に、マンモグラフィ検診費用を負担するなど、乳がん検診をサポートする自治体も増えていきます。お住まいの自治体にお問い合わせをし、上手に活用してください。

「マンモグラフィ」と「乳腺超音波検査」の違い

	マンモグラフィ	乳腺超音波検査
検査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>レントゲンによる検査</li> <li>乳房を片方ずつ、上下・左右方向にはさんで圧迫し薄く平らにして撮影します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>超音波による検査</li> <li>乳房にゼリーのようなものを塗り、超音波を送波する器具を乳房にあててみていきます</li> </ul>
推奨年齢	40歳以上	全年齢
痛み	人によっては痛みがある(月経前は乳房が張り、特に痛みを強く感じやすいです)	痛みはない
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>触ってもわからない、初期の乳がんやしこりを作らない乳がんを見つけることができる</li> <li>乳腺が発達した人では、乳腺全体が白く写り、腫瘍が見つけづらいことがある</li> <li>小さな「石灰化」も発見しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射線ではないため、妊娠中でも受けられる</li> <li>授乳中でも受けられる</li> <li>乳腺が発達した若年層でも乳がんを発見しやすい</li> <li>小さな「石灰化」は発見しづらい</li> </ul>

\* 当院では、豊胸術後の方のマンモグラフィは施行いたしておりません。

\* 触診なしの場合、曜日限定で午後の乳がん検診も始まりました。詳細については、ホームページ又はお電話にて健診センターまでお問い合わせください。

セルフチェック(自己検診)をしましょう!

乳がんは、「しこり」「皮膚のくぼみ・ひきつれ」「発赤・腫れ」「乳頭からの血性分泌物」などの症状があります。自分でも発見できる可能性のある唯一のがんとも言えるため、自己検診がとても大切です。

毎月、決まった時期に自分の乳房をチェックしてみましょう! \* 自己検診の方法につきましては別紙をご覧ください。

\* 気になる症状がある方は、自己判断せずに受診して医師に相談されることをおすすめします。

参考資料: 患者さんのための乳がん診療ガイドライン 日本乳癌学会編 2009年版